

中学生の運動部活動に関わる全ての指導者の皆さまへ

(公財) 日本中学校体育連盟

暴力・体罰・セクハラ等の禁止について（通知）

中学生の運動部活動に関わる全ての指導者の皆さまが、全国各地で運動部活動の指導に取り組まれていることに心より感謝します。日々の授業、生徒指導、学級経営や保護者対応及び様々な調査対応など、ますます多用となっている中での指導は、時間的、体力的に、また精神的にも大変なエネルギーを注がれていることと思います。

顧問として指導されている運動部を自分自身も経験しており希望された方もいる反面、学校事情により希望ではなく担当されている方も多いのではないかと思います。また、外部指導者として主に技術力向上に力を発揮されている方々にも多くかかわっていただいております。

多くの方々の熱意と努力により、中学生の約65%が入部している運動部活動が運営されています。この運動部活動を通して生徒たちは、自主性や社会性を育みながら充実した学校生活を送っています。

平成27年夏に約9千人の中学3年生を対象とした本連盟の部活動に関する調査によると、入部理由の1番は、男女とも約70%の生徒が「楽しみたい（楽しみたかった）」でした。2番目は「上手になりたい（上手になりたかった）」という結果でした。

多くの生徒は、各競技の楽しさを知り、多くの仲間を得て、頑張る心を身に付け、指導していただいた方々に感謝して卒業しています。

しかし、残念ながら指導の中で、暴力・体罰、言葉や態度による人格の否定、セクシャル・ハラスメントなど、生徒の人権を傷つける行為がなくなる現実もあります。この一部の指導者の行為が、多くの指導者に迷惑をかけています。それが生徒たちのスポーツ・運動に向かう熱意を削ぐことにも繋がっています。絶対に許すことの出来ない行為です。

思うように生徒たちの技術が伸びない。試合でなかなか勝てない。自分の考えや気持ちが十分に伝わらない。このようなとき、あなたの態度や表情はどのようになっているでしょうか。生徒のためと考えている行動は、もしかすると、自分の精神的不安定感や指導力不足が原因ではないかと振り返っているのでしょうか。

また、周りの指導者に暴力等、許されない指導をしている人はいないでしょうか。「止めようよ」の一声を勇気をもって発することのできる教育環境でありたいものです。

運動部の元気さ、明るさ、前向きな姿勢は、学校を元気にしてくれます。まとまるエネルギーとなります。スポーツの力は多くの人たちに夢と希望と感動を与えてくれます。これらの力を発揮するには、運動部活動の指導に関わる全ての人が、生徒を大切に、教育者としての愛情を持って正しい指導を行うことが不可欠です。

本連盟が作成に関わってきたスポーツ界における暴力行為根絶宣言等（本連盟HP参照）を確認し、各競技の指導を通して人間性豊かな生徒を育てると同時に、指導に当たる私たちも感性豊かな教育者として向上に努めていきましょう。

最後に、平成27年3月13日にコーチング推進コンソーシアムから発表された『グッドコーチに向けた「7つの提言」』を参考に示しておきます。指導理念の根幹として、改めて認識いただければ幸いです。

- 1 暴力やあらゆるハラスメントの根絶に全力を尽くしましょう。
- 2 自らの「人間力」を高めましょう。
- 3 常に学び続けましょう。
- 4 プレーヤーのことを最優先に考えましょう。
- 5 自立したプレーヤーを育てましょう。
- 6 社会に開かれたコーチングに努めましょう。
- 7 コーチの社会的信頼を高めましょう。

中学生の運動部活動に関わる全ての方が、笑顔で充実した毎日が送れることを期待しております。

全ての運動部で「暴力0（ゼロ） 心でつなぐスポーツの絆」を実感しましょう。